

人材育成の推進が事業継承にも好影響

経営陣の学び続ける背中が幹部や社員さんの意識を変えた

業界が縮小する中、教習生が1.5倍に

「企業格差は人材格差」を実証

Company Profile



取締役会長 高橋 勇様

所在地：東京都武蔵野市境2-6-43

業 種：自動車教習業務

社員数：149名

資本金：1,100万円

「私達はお客様に何が出来るのか？」
ということを常に考え、お客様にとって教習所が「一生の思い出の場」となるように、改善・改革をして、運転免許取得のサポートをさせていただいております。弊社では「ありがとう経営」というスローガンを掲げ、積極的にお客様へ感謝の気持ちを伝えている中で、お客様から「ありがとうございます」という言葉を戴くことがあります。この言葉が私達の活力となり「よりお客様にご満足いただけるサービスを追求めよう」と、新たなサービスに結びついています。今後も経営理念「共尊共栄」を軸に、社員満足、顧客満足、地域社会貢献を追求することにより、更に皆様のお役に立つことができる企業に成長して参ります。平成24年度おもてなし経営企業選出企業



可能思考研修を受講して

基礎コース(SA)の受講前に、紹介者から「特に経営者は研修でリーダーシップを発揮すると大きな学びが得られる」というアドバイスを受けていました。その言葉を信じて全力で参加した結果、大きな勇気が得られたことを今でも覚えています。

変革コース(SC)、実践コース(PSV)でも、リーダー役を率先して務めました。その体験から、「自分の評価は自分がするのではなく、周りの人がするものだ。周りの人が期待してくれるなら、それに応えよう」という考えを得ました。それ以来、どんなことにも挑戦できるようになり、自分の人生が大きく変わりました。自分で気づいたというよりも、周りの人に気づかせてもらったと感じてい

ます。また、仲間の力を借りるという発想がなく、全てを自分の力でやろうとしていたことにも気づきました。それがきっかけで、会社経営に対する考え方が変わりました。自分がいづまでも中心にはダメだと思いい、仕事を振り分けて、新たな組織図を作りました。その結果、周りに仕事を任せられることができるようになり、会社経営が円滑になりました。

研修導入の経緯

当時は労働組合の問題を抱えていました。言葉では「会社を良くしよう」「東京都で1番になろう」と伝えてはいたものの、当時は経営理念もない会社でした。人材育成に力を入れて、お客様や世の中の役に立つ会社になろうと決意し、研修の全社導入を決めました。

会社が

計画性に欠け、業務に追われる毎日

どうして

トップが率先して学び、社員さんと共に学ぼうという姿勢を示した

どうなったのか

人が育ち、会社の成長を後押しする存在へ

導入歴 22年1か月

主な活用研修(のべ人数)

▶可能思考研修実践コース(PSV)-66名

▶社長幹部塾 65名

▶成功発想塾 11名

▶企業内インストラクター養成コース(TT) 3名

▶企業内マネジメントコーチング6か月プログラム 15名

▶マネジメント養成6か月コース 25名

▶経営指南塾 21名

研修導入による効果

学び続けることで、様々な効果が現れました。何よりも自分の娘(現社長)が「共尊共栄」の経営理念と「学ぶ習慣」を継承してくれたことを嬉しく思います。戦略も方針も、全てこの経営理念を基に考えることができます。1990年当時の教習生数は約4,600名で、東京都全体では約27万人もの教習生がいました。2014年の当社の教習生は約7,000名で、東京都全体では約12万人まで減りました。つまり、東京都全体の教習生の人数は55%減ですが、武蔵境自動車教習所の教習生は1.5倍以上に増えています。これは、なにより日創研で学び続けてきたおかげです。

効果を高める工夫

研修には、本人が参加したいと意思表示をしなければ派遣しません。「出る釘は伸ばす」という当社の人事理念の下、勉強したい気持ちがあれば、学ぶ場を提供しています。この人にこの研修を勉強して欲しいという思いがある場合でも、トップが声をかけると命令と捉えかねられませんので、自然な感じで現場の上司から声をかけるようにしています。

また、入社する前から、入社後には研修を受講してもらうことを伝えてあります。学ぶことが好きな人にとっては素晴らしい環境であり、嫌な人にとっては苦痛かもしれませんとも話しています。

日創研の上手な活用法

私は「中小企業の活性化」という日創研の事業目的や、「オーナー会員企業100%黒字化」という日創研のビジョンに共感共鳴しています。

田舞代表をはじめ、各講師や担当スタッフさんからの、「これをやった方がよいよ」というものを全て愚直にやっていくことが、何よりの上手な活用法だと思います。

人材育成にかける思い

社員さんは、世の中からお借りしているモノ。そのお預かりしている社員さんの人生を豊かなものにするのが、会社の使命だと思っています。社員の皆さんは私の分身です。だから大切にすし、時には愛情を持って厳しく接することができるのです。



都内の教習生数が激減する中、当教習所では24年で

1.5倍に

